

医療製品供給リスク実態調査 2026 質問項目リスト

～メーカー・卸・医療機関から見る供給課題と現場影響～

■はじめに

平素より医療製品の安定供給にご尽力いただき、心より敬意を表します。

近年、医薬品・医療機器・医療材料を取り巻く供給環境は大きく変化し、原材料不足、地政学リスク、災害、物流課題など、様々な要因が医療現場やサプライチェーン全体に影響を及ぼしています。

本調査は、「どの製品が欠品したか」を把握することを目的とした調査ではありません。

メーカー、卸・物流、医療機関それぞれの立場から、供給リスクによってどのような業務負荷や現場への影響が生じたのか、また、安定供給に向けてどのような課題や改善策が必要と考えられているのかを把握し、サプライチェーン全体の課題を可視化することを目的としています。

調査結果は統計的に集計・分析し、個人や企業・施設が特定される形で公表することはありません。また、今後の業界活動や行政への提言、医療製品の安定供給に向けた取り組みに活用させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 医療トレーサビリティ推進協議会
代表理事 落合 慈之

<アンケート設問 回答者情報>

- ◆施設名／企業名（非公開）
- ◆所属部署名（非公開）
- ◆氏名（非公開）
- ◆メールアドレス（非公開）

個人情報の取扱いについて

本アンケートでご入力いただいた施設・企業名、所属部署、氏名、メールアドレスは、調査結果の集計・分析および回答者へのご連絡以外の目的では使用いたしません。

調査結果は統計的に集計・分析し、個人または施設・企業が特定される形で公表することはありません。

アンケート回答者特典

アンケートにご回答いただいた方には、「医療職・ヘルスケア DX ガイド」のメルマガ配信先として登録させていただき、以下の情報をご案内いたします。

- 全国アンケート調査結果レポート

- 業種別・部門別分析レポート
- 医療製品の安定供給に関する最新情報
- 医療 DX・生成 AI・セミナー等のご案内

※情報提供を希望されない場合は、以下にチェックしてください。

☐ 調査結果・関連情報の配信を希望しない

STEP0：サプライチェーン区分

該当するサプライチェーン区分を選択してください（1つ選択）

【設問趣旨】

※本調査では、回答結果を「メーカー」「卸・物流」「医療機関」の3つの立場で比較分析するため、ご自身が最も近い立場を1つ選択してください。

複数の役割を担っている場合は、主な業務に基づいてご回答ください。

【対象】

全回答者

【回答（1つ選択）】

- ☐ メーカー
- ☐ 卸・物流
- ☐ 医療機関

*このサプライチェーン区分によって設問項目が変わります

STEP1：基本情報

Q1.業態（メーカー）

【設問趣旨】

業態ごとの供給課題の違いを分析する。

【回答】 いずれか一つ選択。主な事業で回答ください

メーカー

- ☐ 医療用医薬品
- ☐ ジェネリック
- ☐ OTC
- ☐ ワクチン
- ☐ 血液製剤
- ☐ 再生医療等製品
- ☐ 原薬

- ☐ 包装材
 - ☐ 医療機器
 - ☐ 医療材料
 - ☐ CDMO・CMO
 - ☐ その他（コメント）
-

業態（卸・物流）

【設問趣旨】

業態ごとの供給課題の違いを分析する。

【回答】 いずれか一つ選択。主な事業で回答ください

卸・物流

- ☐ 医薬品卸
 - ☐ 医療機器卸
 - ☐ 医療材料卸
 - ☐ SPD
 - ☐ 医療物流
 - ☐ 3PL
 - ☐ その他（コメント）
-

業態（医療機関）

【設問趣旨】

業態ごとの供給課題の違いを分析する。

【回答】 いずれか一つ選択。主な事業で回答ください

医療機関

- ☐ 大学病院
 - ☐ 国公立病院
 - ☐ 民間病院
 - ☐ クリニック
 - ☐ 歯科医院
 - ☐ 調剤薬局
 - ☐ その他（コメント）
-

Q2.所属部門（メーカー）

【設問趣旨】

どの部門へ負荷が集中したか分析する。主な部門で回答ください

【回答】（複数選択可）

メーカー

- ☐ 生産
- ☐ SCM・物流
- ☐ 購買
- ☐ 品質保証／品質管理
- ☐ 薬事
- ☐ 安全管理
- ☐ DX・情報システム
- ☐ その他（コメント）

所属部門（卸・物流）

【設問趣旨】

どの部門へ負荷が集中したか分析する。主な部門で回答ください

【回答】（複数選択可）

卸・物流

- ☐ 需給管理
- ☐ 配送管理
- ☐ 物流センター
- ☐ SPD
- ☐ 営業
- ☐ その他（コメント）

所属部門（医療機関）

【設問趣旨】

どの部門へ負荷が集中したか分析する。主な部門で回答ください

【回答】（複数選択可）

医療機関

- ☐ 薬剤部
- ☐ 用度課
- ☐ SPD 部門
- ☐ 手術室
- ☐ 臨床工学
- ☐ 看護部
- ☐ 医療安全
- ☐ その他（コメント）

Q3.企業・施設規模

【設問趣旨】

規模による差異分析 国内の従業員数（常勤・非常勤を含む概数）

【回答】プルダウン

- ☐ ～100 人未満
 - ☐ 100～499 人
 - ☐ 500～999 人
 - ☐ 1,000～4,999 人
 - ☐ 5,000 人以上
-

Q4.ご所属の都道府県をお選びください（プルダウン）

Q5.担当経験年数をお選びください

- ☐ 1 年未満
 - ☐ 1～3 年
 - ☐ 3～5 年
 - ☐ 5～10 年
 - ☐ 10 年以上
 - ☐ その他（コメント）
-

Q6.本アンケートをどちらから知りましたか。（任意）

- ・ 日病
 - ・ 全日病
 - ・ 全自病
 - ・ 日本歯科医師会
 - ・ 製薬協
 - ・ ジェネリック協会
 - ・ 医機連
 - ・ 卸連
 - ・ 物流関連団体
 - ・ その他（コメント）
-

STEP2：共通設問

Q7.過去 12 か月で供給リスクを経験しましたか

【趣旨】

発生頻度分析する

【回答】（1つ選択）

- ☐ 頻繁にあった
 - ☐ 数回あった
 - ☐ 1 回程度
 - ☐ なかった
 - ☐ 分からない
 - ☐ その他（コメント）
-

Q8.供給リスクの影響を受けた最終製品カテゴリーを教えてください。

※原材料・包装材・中間製品等を取り扱う企業は、影響を与えた最終製品カテゴリーを選択してください。

【回答】（複数選択）

- ☐ 医療用医薬品
 - ☐ ジェネリック医薬品
 - ☐ 輸液
 - ☐ ワクチン
 - ☐ 医療機器
 - ☐ 医療材料
 - ☐ PPE（個人防護具）
 - ☐ 手術材料
 - ☐ 検査材料
 - ☐ 歯科用浸潤麻酔薬
 - ☐ 医療消耗品（グローブ・マスク・エプロン等）
 - ☐ その他（コメント）
-

Q9.供給リスクの主な原因は何だったと考えますか。

【設問趣旨】

供給リスクが発生した主な要因を把握するための設問です。

本設問では、供給不足や納期遅延、限定出荷などが発生した際に、回答者が最も影響が大きかったと考える原因についてお答えください。

調査結果は、サプライチェーン全体で発生している供給リスクの要因を分析し、今後の安定供給対策や政策提言に活用します。

※実際の原因が特定できない場合でも、現場で認識している原因をお選びください。

【回答】（複数選択可）

原薬不足

包装材不足

海外依存
地政学
品質問題
行政・規制対応
限定出荷
配分出荷
物流遅延
人手不足
価格高騰
需要急増
その他（コメント）

Q10.供給リスク発生時に実施した対応を教えてください

【設問趣旨】

供給リスク（限定出荷、供給停止、納期遅延、欠品など）が発生した際に、安定供給を維持するために実際に実施した対応を把握するための設問です。

本設問では、メーカー・卸・医療機関が供給リスクへの対応として実施した対策を把握し、サプライチェーン全体でどのような対応が多く行われているかを分析します。

※通常業務ではなく、供給リスクへの対応として追加または変更した対応についてお答えください。

【回答】（複数選択可）

- ☐ 代替品の評価・検討
 - ☐ 代替品の採用・切替
 - ☐ 発注先の変更・追加発注
 - ☐ 在庫の積み増し
 - ☐ 配分・優先供給の実施
 - ☐ 生産計画・供給計画の見直し
 - ☐ 使用制限・出荷調整
 - ☐ 緊急配送・配送方法の変更
 - ☐ 調達価格の見直し・価格交渉
 - ☐ 調達先・仕入先の変更・追加
 - ☐ 関係者（メーカー・卸・医療機関・患者等）への情報提供・説明
 - ☐ 特別な対応は実施していない
 - ☐ その他（コメント）
-

Q11.供給リスクによる影響度を教えてください

【設問趣旨】

供給リスク（限定出荷、供給停止、納期遅延、欠品など）の発生により、通常業務と比較して、貴部門の業務や医療提供にどの程度の影響が生じたかを把握するための設問です。本設問では、供給リスクによる業務負荷、コスト、品質、医療安全、安定供給などへの影響の大きさを評価していただき、サプライチェーン全体で影響度を比較・分析します。

【回答方法】

以下の各項目について、供給リスクによる影響の大きさを最も近い評価で1つ選択してください

※追加業務時間については、次の設問（Q12）でお伺いします。本設問では影響の大きさを評価してください。

評価	説明（評価基準）
1：影響なし	通常業務で対応可能。追加対応や影響はほとんどなかった。
2：軽微な影響	一部で追加対応は発生したが、通常業務の範囲内で対応できた。
3：中程度の影響	複数の担当者や他部門との調整が必要となり、業務負荷が明らかに増加した。
4：大きな影響	通常業務では対応できず、優先順位変更・残業・応援要員など特別な対応が必要となった。
5：非常に大きな影響	医療提供・生産・物流の継続に重大な影響を及ぼし、業務停止・手術延期・生産停止など組織全体で緊急対応が必要となった。

■業務負荷 1～5 該当なし

評価の目安（例） 残業・休日対応・他部門応援の発生

■コスト 1～5 該当なし

評価の目安（例） 緊急配送・代替品調達・在庫積み増しによる費用増

■品質 1～5 該当なし

評価の目安（例） 追加試験・品質確認・変更管理の増加

■医療安全 1～5 該当なし

評価の目安（例） 代替品評価・ダブルチェック・注意喚起の増加

■安定供給 1～5 該当なし

評価の目安（例） 出荷制限・欠品・生産調整・配分対応

■患者影響 1～5 該当なし

評価の目安（例） 手術延期・処方変更・患者説明・診療制限

■将来不安 1～5 該当なし

評価の目安（例） 同様の供給不足が再発する懸念

Q12.追加業務時間は？（ご本人の1か月あたりの追加業務時間）

【設問趣旨】

供給リスク（限定出荷、欠品、納期遅延、代替品対応など）の発生により、通常業務に加えて新たに発生した業務負荷（追加工数）を把握するための設問です。

本設問では、供給リスクへの対応に要した**回答者ご本人の1か月あたりの追加業務時間**についてお答えください。

※通常業務時間は含めず、供給リスク対応によって増加した業務時間のみを対象としてください。

追加業務の例

- 代替品の調査・評価
- 発注先変更・再発注
- 生産・出荷計画の見直し
- 在庫確認・在庫調整
- 社内・取引先との調整
- 医療機関・患者への説明対応
- 品質確認・変更管理
- 緊急会議・報告資料作成
- その他、供給リスク対応のために追加で実施した業務

【回答】（1つ選択）

- ☐ 追加業務は発生していない
- ☐ 月1時間未満
- ☐ 月1～5時間
- ☐ 月5～10時間
- ☐ 月10～20時間
- ☐ 月20時間以上
- ☐ その他（コメント）

追加業務発生していない以外は下記設問へ

Q12-1.追加業務は主にどなたが対応しましたか。（複数選択可）

- ☐ 自分
- ☐ 同一部門内
- ☐ 他部門
- ☐ 管理職
- ☐ プロジェクトチーム

- ☐ 外部委託
- ☐ その他（コメント）

Q12-2.追加業務はどのくらいの頻度で発生しましたか。（1つ選択）

- ☐ 毎日
- ☐ 週に数回
- ☐ 月に数回
- ☐ 数か月に1回程度
- ☐ 一度だけ
- ☐ その他（コメント）

Q13.供給リスクに備えた在庫積み増しの実施状況

【設問趣旨】

供給リスク（限定出荷、供給停止、納期遅延など）への対応として、通常時より多くの在庫を確保するために、意図的に発注量や保有在庫を増やしたかを把握するための設問です。

本設問は、供給不安に対する各組織の対応状況を把握し、在庫積み増しがサプライチェーン全体の供給偏在や不足感にどのような影響を与えているかを分析することを目的としています。

なお、通常の安全在庫や定期的な在庫補充は含めず、供給リスクへの対応として追加で実施した在庫確保を対象としてください。

在庫積み増しの例

- 限定出荷の情報を受けて通常より多く発注した
- 将来の欠品を見越して在庫を多めに確保した
- 代替品を含めて通常以上の在庫を確保した
- 社内方針・BCP対策として一時的に在庫を増やした

【回答】（1つ選択）

- ☐ 実施した
- ☐ 実施していない
- ☐ 判断できない
- ☐ 該当しない
- ☐ その他（コメント）

Q13-1.供給リスクに備えて在庫積み増しを実施した主な理由を教えてください

(※Q13で「実施した」と回答した方のみ)

【設問趣旨】

供給リスク発生時に、どのような理由・判断で通常以上の在庫を確保したのかを把握するための設問です。

本設問では、在庫積み増しが供給不安への合理的な対応であったのか、それとも情報不足や将来への不安などによって発生したのかを分析します。

この結果をもとに、供給偏在を防ぐために必要な情報提供や運用改善策を検討します。

在庫積み増し理由の例

- ・ 限定出荷・供給停止情報を受け、欠品リスクに備えた
- ・ 納期遅延が続き、通常どおりの調達が困難と判断した
- ・ 将来の供給状況が不透明で、不安を感じた
- ・ 社内方針・BCP対策として在庫を増やすよう指示された
- ・ 医療提供・生産継続のため、安定供給を優先した

【回答】(複数選択可)

- ☐ 限定出荷・供給停止への備え
- ☐ 納期遅延への備え
- ☐ 将来の供給不足への不安
- ☐ 必要な供給情報が十分に得られなかったため
- ☐ 社内方針・経営判断・BCP対策
- ☐ 医療提供・生産を継続するため
- ☐ 取引先(メーカー・卸・医療機関等)から要請があったため
- ☐ その他(コメント)

Q14.今後、安定供給のために最も必要だと思う対策は何ですか。(最大3つまで選択)

【設問趣旨】

医療製品の安定供給を実現するために、現場が優先的に必要と考える対策を把握し、今後の政策提言や業界活動に活用するため。

【回答】(最大3つ)

- ☐ 原材料・部材の安定調達
- ☐ 供給情報(限定出荷・納期等)の早期共有
- ☐ メーカー・卸・医療機関の連携強化
- ☐ 国内生産・供給体制の強化
- ☐ AI等を活用した需給予測・供給リスク予測

- ☐ 医療 BCP・災害対策の強化
 - ☐ その他（自由記述）
-

Q15.平時からの供給リスク情報共有について

【設問趣旨】

供給リスクを平時から継続的に把握・共有し、メーカー・卸・医療機関が連携して安定供給を支える仕組みについて、ご意見を伺います。

本設問は、今後の情報共有のあり方や業界横断の取り組みを検討するための参考とします。

平時から供給リスクを継続的に把握・共有する全国的な情報共有の仕組みは必要だと思いますか。（1つ選択）

- ☐ 非常に必要
- ☐ 必要
- ☐ あまり必要ない
- ☐ 必要ない
- ☐ 分からない
- ☐ その他（自由記述）

Q16.現在最も課題と感じていること、

または行政・業界団体へ期待することがありましたら自由にご記入ください。

【 自由記載 】任意

Q17.次項より、サプライチェーン区分別の設問となります。該当するサプライチェーン区分（メーカー/卸・物流/医療機関）を選択してください。（1つ選択）

- ☐ メーカー
- ☐ 卸・物流
- ☐ 医療機関

STEP3：メーカー向け個別設問

M1.供給リスク対応において、最も業務負荷が増加した業務は何ですか。

【設問趣旨】

供給リスク発生時に、メーカー内で最も業務負荷が集中した業務を把握し、サプライチェーン全体でどの業務に負荷が発生しているかを分析します。

※供給リスク対応のために通常業務以上に時間や労力を要した業務を選択してください。

【回答】(1つ選択)

- ☐ 原材料・資材の調達
 - ☐ 生産計画・製造計画の変更
 - ☐ 生産・製造ラインの調整
 - ☐ 品質評価・変更管理・出荷判定
 - ☐ 出荷調整・配分対応
 - ☐ 医療機関・卸・顧客への説明対応
 - ☐ その他（コメント）
-

M2.供給リスク対応を進める上で、最も連携・調整が必要だった相手はどこですか。

【設問趣旨】

供給リスク対応において、最も連携や情報共有が必要となった相手を把握し、サプライチェーン上のボトルネックや連携課題を分析します。

【回答】(1つ選択)

- ☐ 社内他部門
 - ☐ 原材料・資材メーカー
 - ☐ 卸・物流事業者
 - ☐ 医療機関
 - ☐ 行政・業界団体
 - ☐ 海外取引先
 - ☐ その他（コメント）
-

M3.今後、安定供給を維持するために最も必要だと思う支援は何ですか。

【設問趣旨】

メーカーが考える安定供給実現のための優先課題を把握し、今後の制度改善や政策提言に活用します。

【回答】(最大3つ選択)

- ☐ 原材料・部材の安定調達支援
 - ☐ 国内生産体制の強化
 - ☐ 供給リスク情報の早期共有
 - ☐ 行政・業界団体との連携強化
 - ☐ サプライチェーン全体の情報共有
 - ☐ AI等を活用した需給予測・供給リスク予測
 - ☐ その他（コメント）
-

STEP3：卸・物流向け個別設問

L1.供給リスク対応において、最も業務負荷が増加した業務は何ですか。

【設問趣旨】

供給リスク発生時に、卸・物流部門で最も業務負荷が集中した業務を把握します。

【回答】（1つ選択）

- ☐ 需給調整・配分管理
 - ☐ 在庫確認・在庫再配置
 - ☐ 緊急配送・配送調整
 - ☐ メーカーとの調整
 - ☐ 医療機関対応
 - ☐ 問い合わせ対応
 - ☐ その他（コメント）
-

L2.供給リスク対応を進める上で、最も連携・調整が必要だった相手はどこですか。

【設問趣旨】

卸・物流業務において、最も連携が必要となった相手を把握します。

【回答】（1つ選択）

- ☐ メーカー
 - ☐ 医療機関
 - ☐ 配送会社・物流事業者
 - ☐ 社内他部門
 - ☐ 行政・業界団体
 - ☐ その他（コメント）
-

L3.今後、安定供給を維持するために最も必要だと思う支援は何ですか。

【設問趣旨】

卸・物流事業者が必要と考える支援や改善策を把握します。

【回答】（最大3つ選択）

- ☐ 供給情報の早期共有
- ☐ メーカーとの連携強化
- ☐ 医療機関との情報共有
- ☐ 在庫・需給情報の可視化
- ☐ 配送体制・物流ネットワークの強化
- ☐ AI等を活用した需給予測・供給リスク予測
- ☐ その他（コメント）

STEP3：医療機関向け個別設問

H1.供給リスク対応において、最も業務負荷が増加した業務は何ですか。

【設問趣旨】

供給リスク発生時に、医療機関内で最も業務負荷が集中した業務を把握し、医療現場への影響を分析します。

【回答】（1つ選択）

- ☐ 代替品の調査・評価
 - ☐ 発注・調達調整
 - ☐ 在庫確認・管理
 - ☐ 院内調整・情報共有
 - ☐ 患者・医師への説明
 - ☐ 手術・診療の調整
 - ☐ その他（コメント）
-

H2.供給リスク対応を進める上で、最も連携・調整が必要だった相手はどこですか。

【設問趣旨】

医療機関が最も連携を必要とした相手を把握し、サプライチェーン全体の連携課題を分析します。

【回答】（1つ選択）

- ☐ 医薬品・医療材料卸
 - ☐ メーカー
 - ☐ 院内他部門
 - ☐ 他の医療機関
 - ☐ 行政・業界団体
 - ☐ その他（コメント）
-

H3.今後、安定供給を維持するために最も必要だと思う支援は何ですか。

【設問趣旨】

医療現場が求める支援や改善策を把握し、今後の制度改善や政策提言に活用します。

【回答】（最大3つ選択）

- ☐ 限定出荷・供給停止情報の早期提供
- ☐ 代替品情報の充実
- ☐ メーカー・卸との情報共有強化
- ☐ 在庫・需給情報の可視化

- ☐ 医療 BCP・災害対策の強化
- ☐ AI 等を活用した需給予測・供給リスク予測
- ☐ その他（コメント）

本アンケートについて

下記の送信ボタンを押しますと、アンケートは終了です。

本調査結果は、医療製品の安定供給に向けた政策提言や業界横断の課題整理に活用するとともに、回答者の皆様へ調査結果レポートとしてご案内いたします。

また、アンケート終了後、医療職のための DX ガイド/製薬・医療機器企業のためのヘルスケア DX ガイドにて集計分析結果を展開していきます。

[医療職のための DX ガイド](#)

[製薬・医療機器企業のためのヘルスケア DX ガイド](#)

その際、集計結果サマリー閲覧時には、無料会員登録が必要になりますのでご了承くださいませ。

この度はご協力誠にありがとうございました。

アンケートについて何かございましたら下記までご連絡ください。

一般社団法人 医療トレーサビリティ推進協議会 事務局

お問い合わせ先：itokyo_info@sweet.ocn.ne.jp

個人情報の取扱いについて

本アンケートでご入力いただいた施設・企業名、所属部署、氏名、メールアドレスは、調査結果の集計・分析および回答者へのご連絡以外の目的では使用いたしません。調査結果は統計的に集計・分析し、個人または施設・企業が特定される形で公表することは一切ありません。

アンケート回答者特典

アンケートにご回答いただいた方には、「医療職・ヘルスケア DX ガイド」のメルマガ配信先として登録させていただき、以下の情報をご案内いたします。

- 全国アンケート調査結果レポート
- 業種別・部門別分析レポート
- 医療製品の安定供給に関する最新情報